



## 全国各地から総勢37名

さる2月16日、2015 ETON CROP KYOTO ACADEMYの皮切りとして、「京都桜工房」と題するイベントがキノシタで開催された。年間8コース56回の定期講習以外に、8月にある「お盆工房」と並び、毎回受講者数を更新する人気講習だ。今回は地元京都以外からも、北海道、新潟、福井、愛知、滋賀、奈良、大阪、兵庫からの参加者を含め総勢37名に及んだ。キノシタスタジオは早朝から熱い空気に包まれた。毎回参加の常連組と年2回の工房だけ参加の遠征組とのコミュニケーションに開始1時間前からスタジオの雰囲気は絶好調である。

## 考え方・理論・哲学

講習時間は昼食時間を除き6時間。前半では実習無しの講義に充てられる。講師の塩路夜左可氏は、今や業界トップの講師であることは言うまでもないが、ただ技術指導の講師では無く、まず人間としての資質向上の為の考え方や理論、哲学にも波及する講義が特殊である。講義時間は3時間にも及び、その内容だけでも受講費¥27,000の価値があるのではと思われた。その内容を少し紹介する。



## 初心忘るべからず

今回のテーマ「初心～本当の意味～」。初心忘るべからず、である。室町時代に生きた能役者、世阿弥の説いた言葉だ。その意とは、単純に初めての心のことを忘れるなどはないということである。若いころ、アシスタント期の経験や苦労して身につけた芸、技術を常に忘れてはならない。またその時期に必ずしなければならない事しておくこと。そしてスタイリスト期の経験や技術を忘れては、次のレベルアップの為に身につけたものは何も残らない。過去に培ったものを全部身につければ更に芸に磨きがかかるものだ。やがてベテランスタイリスト期に入っても老後にある試練があり、それを乗り越えることこそが老後の初心に戻ることになる。



## 悩みと希望

午後からの実技講習ではカットウィッグ2台を使い、それぞれの時期に習得しておかなければならないオリジナルニューベーシックからそのタイムアタックに至るまでの技術トレーニング。受講者同士の熱いバトルが弾けている。塩路氏の人気講師の理由のひとつに自身が編み出したオリジナル技法が幾つもあり、そのテクニックは半端でなく難しい。しかしそれをマスターするとお客様の悩みを解消し、さらには希望を簡単に叶えてあげられるのだ。





## ベテランとは

37名の受講者を1人の講師が全員指導するといった図式が解りにくいかも知れないが、実はベテランスタイリストたちが他の受講者達のフォローを惜しげもなく行うのである。

講師は一人一人どんなカットをしているかを勿論把握しているが、ただ単に個人的に観るのでは無くスタジオ全体を見渡し指示が飛ぶので、場の熱気が一段と上昇するのがよく解る。そうして後半の3時間もあつと言う間に過ぎたのである。

## 次の時代のために

毎回恒例の懇親会でも大いに盛り上がり、8月17日の「お盆工房」での再会を誓い合った。

今の美容業界は恐慌期を迎えているという大袈裟かも知れないが、サロンが益々淘汰される中、決して油断のできる時代ではないことは確かだ。この試練を乗り越えなければ、次の時代を迎えることは無いであろう。その時代時代毎に掲げる哲学と芸に磨きをかけることこそが本当の意味での「初心忘るべからず」になるのではないか。



ACADEMY OF HAIR  
**ETON CROP**

株式会社 キノシタ

〒602-8155  
京都市上京区主税町 827-2  
TEL : 075-841-3943  
FAX : 075-801-3174  
www.kyoto-kinoshita.jp  
info@kyoto-kinoshita.jp